Laws Game-ローズゲーム -

修羅修羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Law s Game - ローズゲーム -

【Nコード】

N 8 1 3 3 Y

【作者名】

修羅修羅

【あらすじ】

2051年。現時点で日本の人口は約5億人を超え、各国でも人口数が2位に位置する国にまでおよそ3億ともなる数字で大差をつけ1位、しかしこのままでは大幅に本国はあらゆる面で絶望への一本道であり、国民等は何かしらの対策が必要であると不安に包まれていた。

そこで政府が動き、国民等に告げた『我々は少しでもこの人口問題を解決すべく、少しばかり国民の皆さんにご協力願いたい。そのため、とあるゲームで人口削減に励んでいただきます。』

ゲーム。テレビゲーム、携帯ゲーム、カードゲーム、多種多様に在るゲームという単語は”楽しい”というイメージが用いられるもの。

そして全くもって新しい感覚の最新ゲームが2051年に開催された、

その名は、 L a w s G a m e。

プロローグ

キンコンカンコーン

『只今ゲームを堪能している皆様に本日7度目のお知らせです。今現在プレイヤーナンバー7の零途様にHPOの報告を確認、これで本日の日程内容は終了です。生き残れた方々は次回のゲームに備え、身体にご負担の無いように休息を取ってください』

無機質の音声がスピーカーから漏れたのは気のせいだろうか、決して聴覚が悪い訳でもないのに死が目前にまで迫るとこんなにまで人というのは弱り、何もかもがどうでもいいという情を感じるのか。少年は硬いアスファルトに横になり、生氣すらも有無といった面持ちで力なくぐったりと倒れている。

痛い、という気持ちもあればこの痛みを解消するために早く殺せという想いさえ抱く。

空を見上げると藍色と化した殺風景な雲もまた絶望を放つ。目を閉じる。

早く死にたい早く死にたい早く死にたい。

「早く殺せよ、俺はもうゲームオーバーなんだろ？係りの奴等は何をしている、さっきも報告されたはず……」

ああ、疲れたよ、俺よくやったよな？ちゃんと成し遂げれたよな？これって、意味のある死だよな？

目を開いたら天国か地獄か、眼中に写ったのは一輪の花だった。

笑える。あの世にもこんな可憐な花があるとは。

そっとその花に手を伸ばす、紅色に天に真っ直ぐに、咲いていた。土に根を張って、まだ死ぬ訳には行かぬまいと訴えるかのように。だけれども。

違う、こいつは違う。

気づくとその花はアスファルトという人工的に作られた理不尽な地面に根を張りつつも、勇ましい姿でこんなに愛らしくも生き生きと

しているかではないか。
違う、こいつは違う。

俺とは違う。

生きる意味は同じくも、生きようとしている道が違う。

でも仕方が無い、今の俺にはその生きる道が無い。

そつとその花を撫でる、雨の中少年はただ死を待つ。

仰向けに藍色の雲を眺めながら……

眼中。ふと藍色雲の右端になにか棒グラフのような物が見える。

力ずくで腕を伸ばしその何かを己の手で触れようとしたが、すぐ目の前にあるはずのそれがまるで通り抜けたように空気のみを掴む。

掴めないのがおかしくて、何度も何度も触れようとするが掴めない。そこにあるはずなのに。

瞬間、脳内を駆け巡るように一本の筋にピンときた。

「まさかね……」

呟くその言葉には若干の希望が在してるようだ。

掠れた声で何か最後の希望に託すように少年はその言葉を口にする。

「ステータスオン、HP認識機能オン、認識確認」

その言葉に対して誰に語っているのか。問うのか。

数秒後。

『現在の貴方様のHPを確認、HP残り1、残り1』

俺はまだ死を知らない。

知りたくない。

さっきまで早く死にたいって叫んでた俺が、何今更そんな戯言ほざいてるんだらうと思う。

でもこれを矛盾とは言わない。

だってやっと見つけたんだ、死ねない理由を。

「そこのでっかいモニターの画面見てみるよ、涙流しながら俺の名前大声で叫んでる奴が見えるだろ。あんな顔死ぬ前に見せられたらそりゃまだ死ねないっての！」

ほんの一握りの命に懸けて、改心だか希望だか知らないけれども

ただゆっくりと立ち上がったのだけは確かだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8133y/>

Laws Game-ローズゲーム -

2011年11月24日01時53分発行